

一日教育委員会（教育懇談会）意見交換記録

□日時	平成24年8月10日（金）	13:30～
□場所	身延町総合文化会館	
□出席者	99名	
	（内訳）PTA関係者	67名
	市町村教育委員会関係者	20名
	その他（学校教職員・社会教育委員等）	12名

1 学校教育(就学相談員派遣、適応指導教室)について

（意見・質問）

- ・特別支援教育について就学相談員派遣の継続をお願いしたい

→（応答：新しい学校づくり推進室長）

- ・予算的な制約がある中で優先順位をつけて事業をしている。
- ・就学相談員は評価が高く、継続して欲しいとの声を聞いている。
- ・通級指導教室のように共同設置が出来たらと考えている。
- ・地元の方々の意見や必要性を地教委へ伝えていただければと思う

（意見・質問）

- ・こすもす教室は石和・葦崎・都留の3カ所であるが、峡南地区への配置をお願いしたい
- ・サポートルームの配置をお願いしたい

→（応答：義務教育課長）

- ・峡南地区への配置は、財政的に厳しいが、サポートルームの開設などの案を参考に峡南地域においてもサポートできるような形で進めていけるよう検討したい

2 高校入試制度について

（意見・質問）

- ・県立高校の特色を出すため全県一学区の継続と、自己推薦制度の継続を

→（応答：新しい学校づくり推進室長）

- ・高等学校審議会において今年度は入学者選抜制度について検討している。
- ・前期入試は、高校の特色づくりで大きな成果が出ている意見がある一方で、入試の不透明感があるとの声もある。
- ・今後、どうあるべきか審議会でも検討している。12月に答申予定。

（意見・質問）

- ・新しい入試制度について、親も子どもも振り回され、非常に混乱した。来年度はどのようなになるのか。もっと慎重に考えて欲しい

→（応答：新しい学校づくり推進室長）

- ・保護者や生徒に入試制度改正について伝わりきらなかったこともある。
- ・今後、前期入試についてはなくなるとも続けるとも言えない

- ・子どもたちが混乱することのないよう留意したい

3 道徳教育について

(意見・質問)

- ・学力向上が重視され、道徳教育が疎かになっているのではないか。
- ・教員は体罰はダメといわれそれに怯えるのはどうか。
- ・今はケンカもできない。ケンカするとすぐに停学処分され、痛みがわからない。もっと昔のこと思い出して頂ければと思う。

→ (応答：小林委員長)

- ・時代が変わり、体罰は法律で禁止されている。
- ・保護者も教員も子どもを愛する気持ちや、ふるさとを好きになってもらうことは一緒なのかなと感じている。
- ・100%全ての家庭に満足は行く方策はない。最大公約数で対応し、いじめで犠牲がないように、生徒だけでなく先生も、親も寝込まないようにしていきたい。

4 小規模校対策について

(意見・質問)

- ・途中転校してきた児童に対する教員の配置が受けられなかったが、都市部で中学校校内暴力報道があったとき、対応する教員を配当すると聞いた。
- ・小規模校に対してどうあるべきか考え方を聞きたい

→ (応答：総務課長)

- ・都市部学校は、問題が起こる前から指導困難校として配置が決まっていたもの。
- ・逆に児童生徒が転出してもそこから先生を引き上げることはしていない。御理解をお願いしたい

→ (応答：小林委員長)

- ・私の会社では、ショッピングセンターにいけない高齢者などのために配達したりして、大を助けて小を切り捨てるのとは逆の考え方である。
- ・前例とかは関係ないが優先順位とかはあると思う。

→ (応答：瀧田教育長)

- ・立場上ルールを守らなければならない。
- ・ただし、個人的には、実情に応じて替えられるルールであるべきと思う。
- ・もう少し国にも柔軟な方策を是非お願いしたいと考えている。
- ・小規模校に良いものとその裏がある。大規模校にも裏表がある。
- ・それぞれ予想しながら出来るだけマイナス面が出ないようにしていきたい。

→ (応答：石川教育委員)

- ・峡南は過疎が進み、厳しい状況が続いている。
- ・小規模校による事務職員のかげもちにならないよう努力したい。
- ・ことばの教室も児童館の中に設置した。サポートルームもスペースもある。
- ・厳しい中皆さんが頑張っていることを理解している。

5 ことぶき勸学院について

(意見・質問)

- ・評価委員会で廃止で驚いた。
- ・拠点が峡南で2つあったが、全県で甲府と都留2つになってしまった。
- ・30人→200人で学習効果あるのか。人と人との結びつきが築かれない。

→ (応答：社会教育課長)

- ・行政評価において廃止すべきとされたが、生涯学習推進センターとの統合や拠点再編成、学費値上げ等を行い今年度も維持できるようにした。
- ・運営については、今後も社会教育課が関われるよう検討している。
- ・学習の場については、地域教室の開催やサテライト授業などを検討している。

6 しなやかな心のプロジェクトについて

(意見・質問)

- ・しなやかな心のプロジェクトについて、「しなやかな心」とは？
- ・しなやかな心のプロジェクトの取り組みである「あいうえお」とは？

→ (応答：総務課主幹)

- ・健全な心を育てるのが難しくなっている中、周囲の心を考えながら、自他を敬愛し、自分の心が折れないよう「しなる」ように粘り強く心を保つようそんな願いを込めたもの
- ・学校だけでなく保護者、地域もみんなで協力していくことが重要
- ・「あいうえお」は、親に向けての取り組みの一つ。
 - 「あ」 ありがとう ごめんなさい 素直な心育てます
 - 「い」 一緒に読書 家族の会話もはずみます
 - 「う」 うちの子もよその子も同じ気持ちで叱ります
 - 「え」 笑顔で声かけ 元気にあいさつ 地域に広がる思いやり
 - 「お」 教えます いけないことはいけないと